



水清かれの思いひとつに

「吉井川源流の碑」建立

高田小学校の4年生とごんごの会によって杉の原木に「吉井川源流の碑」と刻まれた碑が、リヤカーで吉井川の流域16市町村を巡り、再び津山へ帰ってきました。

碑は多くの流域の人々と出会い、それぞれの地域で川への思いを聞いてきました。そして11月3日、水清かれの思いをひとつにして原木が切り出された横野滝の近くへ建立。

前日の11月2日にはシンポジウムも開催され、さまざまな取り組みの報告や川にまつわる問題についてのパネルディスカッションも行われました。



「晴れの国おかやま国体」を成功させよう!

実技指導と剣道講演会

全日本剣道選手権大会での優勝3回など輝かしい成績を残す西川清紀さん(教士8段)を迎えて、実技指導と講演会が11月9日、津山工業高等学校で行われました。

実技指導では、高校生男子部員に足さばきの方法や相手に正対し目を離さないことなどを指導。「剣道と私」と題した講演では、正しい作法を身につけること、中心を外さず相手のすきを攻めることなど、剣道は基本が大切と訴えました。

中学生や高校生、剣道関係者など約600人の参加者は、自らの歩んだ道のりをもとに話す西川さんの言葉に真剣に耳を傾け、剣道に対する決意を新たにしました。



大勢の人でにぎわいました

「商店博覧会」と「本のリサイクル市」

第3回商店博覧会が11月8日・9日の両日、銀天街、元魚町商店街で開催されました。

商店街のにぎわいと再生、空き店舗ゼロをテーマに若手事業者の商業維新会メンバーや地元商店、美作大学技術交流プラザ食品グループ、つやま屋台村など約40のワゴンが出店。大ワゴンセールが行われました。

9日は、約1万冊の本が用意された第9回本のリサイクル市も同時開催され、大勢の人で商店街は終日にぎわいました。



豊かな自然の中に歴史を感じた さら山時代祭

11月9日、佐良山地区あがてのイベント「第6回さら山時代祭」が、地区内の旧出雲街道沿い（市内皿から種まで）で盛大に開催されました。

会場となった道沿いには、昔の生活が体験できる「カキ谷古墳広場」や土ひねりができる「土の広場」、どじょうつかみのできる「水の広場」など体験コーナーがずらり。キビもちやぜんざいなど、地元町内会によるさまざまな屋台も並びました。

参加した人たちは、紅葉の始まった街道沿いで後醍醐天皇一行にふんした時代行列や歴史体験イベントを思う存分楽しみました。



2年分のにぎわいがありました 津山城東むかし町

昔懐かしい射的大会や昔衣装に身を包んだ町娘がもてなすお茶席など、街道筋がまさに江戸時代へとタイムスリップした第14回津山城東むかし町が11月2日に行われました。

今回の祭りには、津山が生んだタカラジェンヌ桜乃彩音さんも参加し、会場はあっという間に盛り上がりました。

城下町津山の特徴を最も残す城東地区には、このイベントがよく似合います。



より便利に

新日上橋が完成しました

市内日上と小桁を結ぶ新日上橋が完成し、11月21日、開通式が行われました。

完成した橋は幅9.75メートル、長さ150メートルで、総事業費4億9,000万円をかけて完成しました。この橋には幅2.5メートルの歩道も設けられており、鋼製の橋げたで支える構造となっています。

開通式には、町内会や工事関係者、来賓などが出席。テープカットとくす玉割りに続き、地元の3世代家族を先頭に渡り初めをして完成を祝いました。

